

学習内容報告書

学校名	福井県小浜市立内外海小学校
授業者	服部 縁

1. 単元計画

1-1. 単元名

内外海マップを作ろう

1-2. 学年

4年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 社会

1-4. 単元の概要

まだ行ったことのない地区を中心に探検に行く、内外海地区をよくしていくために活動している人に話を聞くなどして、内外海地区を良いところを再発見させる。そして、3年時にまとめたマップをバージョンアップさせたマップにまとめ、地域に発信していく。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

内外海地区は校区が広く、児童が自転車で気軽に行けるようなところには限りがある。まだ行ったことのない地区や、校区でありながら名前も知らない地区すらある状態である。そこで、まだ行ったことのない地区を中心に探検に行き、内外海地区を良いところを再発見させる。

クロムブックを活用した内外海マップにバージョンアップさせ、地域に発信していく。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

内外海地区の良いところを発見する力、課題を見つける力、コミュニケーション力、情報活用能力、ふるさとを愛する心

1-7. 単元の展開（全60時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
20	<p>阿納地区</p> <p>シーカヤック体験 わかめ干し、もずくの新芽とり体験 わかめふりかけ作り ふりかけ販売</p>	<p>ブルーパーク阿納 民宿浜頭</p> <p>進んで活動に取り組んでいるか。 地元の食材を生かす工夫を考えているか。</p>
10	<p>田鳥地区</p> <p>海と山のつながりについて学ぶ 我が袖くらぶの活動インタビュー 二条院讃岐姫について学ぶ 俳句作り</p>	<p>国立若狭湾青少年自然の家 我が袖クラブ 山下さん 永源寺 松島さん</p> <p>田鳥地区をよくしていこうという活動に学び、自分たちができていることを考えているか。</p>
5	<p>堅海・若狭地区</p> <p>若狭の祭り、梅 栽培漁業センター見学</p>	<p>栽培漁業センター</p> <p>内外海の漁業について関心を持ち、海の資源や、それを守る方法について考えることができたか。</p>
10	<p>西小川</p> <p>蘇洞門・沖の石見学</p> <p>甲ヶ崎</p> <p>牡蠣の養殖見学</p>	<p>民宿村上 蘇洞門の雄大さを味わうことができたか。 藤田商店 養殖業についての関心が高まったか。</p>
20	<p>学習発表会</p> <p>探検して学んだこと、防災について学んだことを発表する。 マップ作り 各地区のスライドを作成 二次元コードにして、マップに貼り付ける</p>	<p>自分が感じた良さを発表やマップ作りに生かすことができたか。</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

内外海マップをバージョンアップさせる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>どんなマップにしていくかを考える</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今まで探検した場所が分かるように載せたい。・ いいところが伝わるようにしたい。・ 写真を撮ってきたから、写真も載せたい。・ 3年生の時作った内容も載せたい。 <p>→マップに説明が入るように工夫する。 →その説明をQRコードで読めるようにする。そうすると、たくさんの情報を載せることができる。</p> <p>役割分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自分が住んでいるところが一番詳しいから、分担するときは、住んでいる地区で分けた方が良い。 <p>→地区別に2～3人のグループを作って、スライドを作成する。</p> <p>地区ごとに載せたい観光スポットを相談し、スライドする。</p>	

3. 今回の活動の自己評価

海の豊かさ、山とのつながり、ふるさとを愛する人々などに気づくことができ、ふるさとを自分たちの誇りと感じていた。それを伝えていきたいと、学習発表会では、地域に出かけたアンケートの結果を入れたり、歌や踊り、俳句などを入れたりしながら、分かりやすくスライドにまとめた。また、地域ごとにPRのスライドを作り、それをマップに載せることで、今まで調べてきた情報をたくさん発信することができた。

良いところを中心にとらえてきたため、地域の課題について考えることが不十分であった。今後は、5年生が学習した海ゴミ問題についてを引き継ぎ、今ある地域の課題についても目を向けられるようにしていきたい。

4. 今後の課題

例年行っている活動に新しい視点を入れていきたい。(例えば、海ゴミ問題について、ゴミを減らす工夫だけでなく、ゴミを生かす工夫について考えるなど)

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点